

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 製油パートナーズジャパン株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8071 岡山県倉敷市水島海岸通三丁目 2 番地
本票作成	部署名：生産部 製造課 水島工場				
主たる業種	分類コード	09	業種名：食料品製造業		
事業の概要	大豆・菜種搾油の製造 従業員55人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島工場		岡山県倉敷市水島海岸通三丁目 2 番地	
	②	倉敷工場		岡山県倉敷市玉島乙島新湊8266番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数) 2 所      ●車両台数 (②該当の場合) 台				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和 5 年度)		(令和 6 )年度排出量	目標年度(令和 6 年度)
		32,319 t CO <sub>2</sub>	42,127 t CO <sub>2</sub>	38,391 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6 )年度排出量	
	①	水島工場	22,926 t CO <sub>2</sub>	
	②	倉敷工場	19,201 t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 ( 1 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 6 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.7 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 原料処理量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 6 ) 年度	目標年度
		62.970 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	60.630 t CO <sub>2</sub> /(千 t )	56.440 t CO <sub>2</sub> /(千 t )

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】				
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標削減率は達成したが、目標原単位に届かなかった理由は、グリーン電力の導入を見込んでいたが導入が令和 7 年度となつたため目標原単位を下回った。</li> <li>省エネルギーパトロールを実施し、省エネ施策を多数発掘した。その施策を積極的に推進したことで年1%以上のエネルギー原単位の削減が実現でき、あわせてCO<sub>2</sub>の排出も削減することが出来た。</li> <li>省エネパトロールは継続し更なる削減策を検討する。</li> </ul>				

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している
- ・令和7年度については脱炭素・省エネチームを創設しさらなる推進体制の強化を図る。

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷工場	(令和6年度実施分) ・冷却水ポンプの省エネによる電力削減（ポンプ、ファン運転台数削減） ・蒸気コンプレッサーによる電力削減 ・抽出ポンプ電力削減（モーター容量の変更） ・チラーの最適運転台数の設定による電力削減 ・チームトラップ外部診断によるロスの削減 ・ドレン排熱の有効活用による燃料削減
水島工場	
倉敷工場 水島工場 倉敷・水島工場	(今後実施予定分) ・グリーン電力の購入によるCO2削減 ・高効率ボイラ導入による燃料削減 ・昨年の省エネパトロールで発掘した省エネ施策の推進

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

令和5年のCO2排出量が少ないのは水島工場分が下期のみのCO2排出量のため。

令和5年下期より製油パートナーズジャパンが設立されたため、下期分の排出量となっている。